

事業所における自己評価結果(公表)

公表 平成31年 3月

事業所名 社会福祉法人 至泉会 ソーレ平塚療育園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切である。	○		法令で定められたスペースの確保と職員配置を行っています。	
	②	職員の配置数は適切である。	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされている。	○		バリアフリー環境となっています。情報は必要に応じてひらがな表記やおくり仮名の活用をしています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清掃員により清掃と、営業終了後に職員による清掃を行い衛生的な環境に努めています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	○		利用者からの意見をアンケートや面談時に聴き取り、毎月の会議で検討しています。会議には児童発達支援管理責任者、保育士、看護師など広く職員が参画しています。	
	⑥	保護者等向けの評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	○		自己評価、保護者からの事業所評価を行い、結果を業務改善に向けて検討しています。また、その内容はホームページにて公表します。	平成31年3月にホームページにて公表しています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。		○		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	○		同事業を行っている事業所の集まり等を通じて自施設の運営に意見して頂き、その内容を運営に反映できるようにしています。	第三者評価機関による評価は行っていません(今後検討)。施設内の評価(自己評価)、利用者による評価が中心となっています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	○		職員の経験年数に応じて研修を実施しています。必要と思われる外部研修に参加しています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	○		施設のアセスメント用紙を用いてアセスメントを行い、児童発達支援管理責任者を中心に保育士、看護師、理学療法士等と協力のうえ、児童発達支援計画を作成しています。	標準化されたアセスメントツールが当事業所に適切なものであるか検討していきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。		○		

適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	○		ガイドラインの内容を参考に支援内容を設定しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	○		児童発達支援計画に沿って、支援を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている。	○		毎月の会議において、次月の活動の立案、確認を行っている。 また、日々の打合せ内で、当日の活動の内容を確認、必要に応じて変更を行っています。	
	⑮	活動プログラムの固定化しないよう工夫している。	○		⑭同様。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団行動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	○		定員5名と利用児数が少ないこともあり、個別活動が多くなっているが、集団に入ることを想定したプログラムを実施しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認している。	○		朝の打合せにて確認をしています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	○		終業時の打合せにて振り返りを実施しています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	○		利用時の様子については記録を徹底しています。児童発達支援計画作成時やモニタリング時に活用をしています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	○		少なくとも6ヶ月に1回のモニタリングを行っています。必要がある場合には計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	○		利用中の様子をしっかりと把握できている者が参画しています。(児童発達支援管理責任者、看護師)	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	○		必要に応じて連絡をとり、情報共有や相談をしています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関等と連携した支援を行っている。	○			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。	○		診療情報提供書により指示内容を確認しています。必要があれば直接の連絡も行います。	

関係機関や保護者との連携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	○		必要に応じて連絡をとり、情報共有や相談をしています。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	○			
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	○		年に数回、市内の事業所間の情報交換会に参加し、助言や研修を受けています。	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。	○		年に5～8回、近隣の保育園と交流をしている。訪問して保育に参加したり、お遊戯披露で来訪してもらったりしています。	
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども、子育て会議等へ積極的に参加している。	○		自立支援協議会の子ども部会に参加しています。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解を持っている。	○		朝と帰りの時間を活用して、情報を交換をして共通理解が持てるように努めています。	
	③⑪	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている。	○		必要があるときに行います。	
保護者への説明等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	○		利用開始の契約時説明しています。また、施設内に掲示しています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	○		児童発達支援計画を用いて支援内容を説明し同意を得ています。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	○		毎回、お会いした時に行えるように心がけています。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	○			利用児が少ないので、父母の会等はない。保護者同士の連携の機会を増やしていくよう検討が必要。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	○		苦情解決責任者、苦情受付窓口、第三者委員を配置して相談や申し入れを受け付けています。施設内に相談支援体制を掲示しています。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	○		月間で行事予定を配布している。内容については、ご意見を頂き改善をしていきます。	
	③⑱	個人情報の取り扱いに十分注意している。	○		個人情報記載された書類は鍵付きの書棚で管理しています。また、データ管理しているものへのアクセスは端末や記録ソフトにパスワードを設定しています。	

保護者への説明等	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	○		ひらがな表記やおくり仮名の使用、筆談等と相手の方の状況に合わせて対応しています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	○		施設設備(ホール、会議室等)の一般開放を行っており、地域住民に活用してもらっています。	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また発生を想定した訓練を実施している。	○		マニュアルを作成し、訓練を実施しています。	訓練実施日を予定表でお知らせします。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っている。	○			
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	○		利用開始時のアセスメントにおいて実施しています。	